

西暦2004年1月～2021年8月にバレット腺癌を含む食道胃接合部 癌手術を受けられた方へ

「バレット腺癌を含む食道胃接合部癌における臨床及び病理学的検討」

の情報公開文書

1 研究について

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

2 この研究で用いるあなたの試料・情報の利用目的及び利用方法について

本邦におけるバレット食道癌を含む食道胃接合部癌の罹患率は欧米ほどの増加はないものの、近年の食道胃逆流症や、ヘリコバクター・ピロリ菌感染率の低下に伴い、食道胃接合部癌の増加が予想されています。バレット食道癌は、食道胃逆流症によるバレット上皮を母地として発がんすることにより発生します。P53 や glutathione S-transferase theta 2 (GSTT2) といったタンパクの発現が食道がんの発生、進展に関与している可能性が指摘されていますが、バレット上皮から発がんしやすい条件などはまだ十分に解明されておりません。そこで、この研究の目的は、当院でバレット食道癌を含む食道胃接合部癌の治療を受けられた方の切除された標本を用いて、腫瘍内の腫瘍関連タンパク(P53、GSTT2 など)の量を測定し、腫瘍の悪性の度合いや治療後の病状との関連があるかを調査致します。腫瘍内の腫瘍関連タンパク(P53、GSTT2 など)の量と腫瘍の進行の程度や治療後の病状との関連が証明されれば、新しい大腸腫瘍の治療方法が見いだせる可能性があります。また、治療を行う前や治療中の方の病状の予測の方法の一つの手段として実際の医療への応用も期待できると考えられます。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、西暦2004年1月1日から西暦2021年8月31日までに名古屋市立大学病院に受診された際の医療情報と、切除された標本を用います。用いる医療情報は、下記のとおりです。

- ・年齢、性別、腫瘍組織型、進行度、治療法、病理組織検査結果

4 あなたの試料・情報を利用させていただく研究者等について

この研究では、以下の研究者があなたの試料・情報を利用させていただきます。

研究責任者： 所属・氏名 消化器・代謝内科学、西江裕忠

研究分担者： 所属・氏名 消化器・代謝内科学、片岡洋望

5 本研究施設における研究責任者等の氏名

この研究は、研究責任者/個人情報管理者が責任をもって試料・情報を管理します。

研究機関名： 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

研究責任者： 氏名 西江 裕忠

個人情報管理者： 氏名 西江 裕忠

7 あなたのプライバシーに関わる内容は保護されます。(個人情報等の取り扱い)

あなたの試料・情報などは匿名化した番号で管理されるため、報告書などでは、得られたデータがあなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに関わる情報(住所・氏名・電話番号など)は保護されます。また、この研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、その場合も、あなたのデータであると特定されることはありません。

8 あなたの試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を希望しない場合

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究に、あなたの試料・情報の利用されることや他の研究機関への提供されることを希望されない場合は、ご連絡ください。

【問い合わせ先】

研究実施機関： 名古屋市立大学 消化器・代謝内科学

連絡先： 052-853-8211

(対応可能時間帯) 9時から17時まで

対応者： 消化器・代謝内科学 助教 西江裕忠

✉ (nishie@med.nagoya-cu.ac.jp)

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究により得られた研究成果等の取り扱い

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生み出される可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

10 この研究の資金源及び利益相反（COI(シーオーアイ)：Conflict of Interest）について
研究一般における、利益相反（COI）とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な
判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」
のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研
究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。この
ような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可
能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告するこ
とが定められています。

この研究は、金銭的研究助成は受けておりません。また、研究に使用する医薬品等製造販
売業者からの資金提供等もありません。

なお、名古屋市立大学においては、この研究について、企業等の関与と、研究責任者およ
び研究分担者等の利益相反申告が必要とされる者の利益相反（COI）について、名古屋市立
大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会の手続きを終了しています。